

令和2年度事業報告書第41期」
(令和2年年4月1日～令和3年3月31日)

令和3年5月17日
社会福祉法人 悌愛会

事業の概要

令和2年度は町田ときわ保育園発足以来41年目となった。

児童の入所については年度末に総定員110名の所102名の受入れとなった。今年度は昨年度に比べさらに入所児童が減少しており、定員割れが恒常的となっている。決算の面からも2年連続の赤字決算となっており、令和3年度の入園状況も15名以上の定員割れで始まったことを考えると非常に厳しいものがある。今後は継続的な定員割れ対策が必要であり、定員変更を含む施設の建て替えや、認定子ども園への移行等、選ばれるための方策を考えなくてはならない。

また、2月ごろより顕在化してきた新型コロナウイルスの影響は一年以上たった現在も続いており、令和2年度の行事については入園式の参加者限定開催。保護者懇談会の中止。納涼大会の代替え行事としてのお祭りごっこの実施。運動会の代替え行事としての3, 4, 5歳児各クラスの体育発表(保護者1名限定)。5歳児クラスの秋季遠足の場所の変更。卒園式は卒園児と保護者1名での実施。そのほかできる限り密にならない方法で行事を開催したものの、保護者からは開催を心配する声や反対に行事の減少に対する不満の声など様々だった。

日常の保育についても昼食時間にそれぞれを分けるプラスチックシートや、水道の自動水栓、空間除菌装置の購入を行った。また、3, 4, 5歳児においては通常保育中はマスク着用を基本とし、昼食後の歯磨きの中止、散歩などで手をつながないで歩くなど、細かい部分で衛生対策の変更を行ってきた。

今年度も職員が余剰のまま過ごし、赤字決算となる一因となった。一人でも余剰人員がいると赤字になってしまう経営体質を解消することが先決であるが、一度保育士の退職があると補充ができないこともあり、定員変更を含む体制の中長期的な計画の見直しが急務となっている。安定的な人材管理を目指すための働きやすい労働環境の整備として、休憩室の質向上や、事務処理のさらなるITC化を進めてゆく。

施設の修繕については予算不足もあり、今年度は細かい修理のみ行った。

地域交流事業については、町田市の「マイ保育園事業」を含めた子

育てひろば事業(Ⅱ型)を4,5月は中止し6月以降はコロナウイルス感染症対策を行いながら実施した。

世代間交流及び「なかよしおでかけクラブ」は地域の老人との交流を含むため実施しなかった。

独自事業として行っている、地域貢献事業の小中高生の育児体験や老人交流などもコロナウイルス感染拡大を憂慮し実施しなかった。これら補助のない事業はコロナウイルス感染症の収束見通しが立っていないので、事業のが継続できるか再検討する必要がある。

一時預かり事業は3月末に登録者77名、年累計で212名の利用があった。これもコロナウイルス感染症拡大により4,5月は実施しなかったものの8月以降は例年通りの利用状況であった。

当園の保育をめぐる状況として定員の未充足と、人件費比率の高止まりによる赤字体質が続いていることである。昨年の町田市による指導監査の折に、赤字体質からの脱却のためには、社会福祉充実計画の見直しを行う必要があるとの指摘があり、園舎新築の可能性を探るために大まかな見積もりを依頼した。今後これをたたき台として中長期的な計画の見直しを行うため、日々各種団体研修に参加し情報収集を図り、今後の法人運営の最善の方法を決断する努力を行っている。

1 児童の処遇

1) 健康管理

0歳児の年4回の健康診断の実施。

年間2回の1歳～5歳児の健康診断の実施。

看護師による巡回指導。

歯科検診年間1回の実施。

町田市健康課職員による歯の健康指導を、4～5歳児中心に実施。

各クラスでの指導と今週のお約束による保護者への働きかけ。

多摩境くまこどもクリニック島村医師を園医に依頼して健診を行う。

2) 栄養管理

「給食・食育年間計画」を策定し、食についての年間を通しての取り組みを実施した。

毎月当初に発行する乳児用幼児用2種の献立表によるもの、手作りおやつや「お楽しみ献立」の実施。

又、アレルギー体質児等に対する特別献立、栄養士と調理職員による各クラスの巡回、乳・幼児給食会議による保育者との連携、試食会による保護者との話し合い等を実施した。

3) 保育

町田ときわ保育園全体的な計画、年間クラス運営計画、年間保育計画、月間保育計画、週案、デーリープログラム、課題別指導案、行事計画書、園外保育計画書並びに各計画書の反省書、課題別指導に対するデーター、集計と分析により翌月のカリキュラムへの反映、個人別連絡帳、保育日誌、児童表の記載、クラスだより、その他の連絡等により、子ども一人一人の特性と個人差に合わせ保育を展開した。

4) 安全管理

安全衛生委員会による日々チェック、4S、毎月1回の避難訓練及び消火訓練・防犯訓練、交通安全指導を実施した。

2 職員の処遇

1) 健康管理

毎年1回の健康診断、40歳以上の成人病予防健診の実施。

2) 労務管理

所定労働時間、38時間。

3) 待遇

町田市法人立保育園協会給料表による本俸、当法人給与規定による諸手当、期末手当、その他。就業規則変更。平成29年3月に処遇改善に伴う届出。

4) 研修・講習

市協会、東社協、民保協、都、その他への参加。

5) 職員会議

毎週火曜日の昼礼、各委員会、毎月1回の乳・幼児別給食会議、毎月末の職員会議とカリキュラム会議、障がい児関係打ち合わせ会等の実施。グループ会議 0,1,2歳と3,4,5歳。

6) 福利厚生

町田市勤労者福祉サービスセンター(互助会)に加入。
親睦会。(今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため実施しなかった)

3 保護者対応

1) 保護者会

保護者会活動は令和元年度より休止、保護者会活動は有志による自発的な行事参加となった。

- 2) 保育参観、保育参加
年間2回実施。
- 3) クラス懇談会
年間1～2回実施。
- 4) 個人面談
年間1回、その他必要とされる都度実施。

4 事業管理

1) 経理

町田ときわ保育園経理規定により実施。

2) 園だより等

毎月1回その他必要に応じ発行。クラスだより、保健だより、行事連絡、園外保育だより、給食献立その他必要に応じて連絡、伝達を行う。

保護者用ホームページにて行事などでの子どもの様子を配信する。又、メール配信で緊急の情報を配信する。

3) 地域交流事業

未就園児童については、サークル支援活動の「なかよしキラキラクラブ」を2回実施しのべ大人26人、子ども27人の参加があった。

「なかよしクラブ」は4、5月を除く、毎週月曜日に行い、これとは別に園庭開放を毎週木・金曜日に実施した。例年実施している出前保育は老人交流を含むため実施しなかった

老人交流も同様に、コロナウイルス感染症拡大のため本年度は実施しなかった。

5 備品、備品関係

コロナウイルス感染症対策として衛生用品を大量に購入したため、
大きな備品などの購入はなかった。緊急改修工事として園庭の排水対策や、プールのフェンスの改修をおこなった。

6 会計

- 1) 毎年度末にて作成し、事業全体及び会計経理の監事による監査を受け、理事会報告と登記を行う。

以上